

2016年8月8日
ランサーズ株式会社

ランサーズが提案する、新しい地方移住のかたち 「さすらいワーク」プロジェクト始動 ～フリーランス×地域の新しい取り組み～

ランサーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：秋好 陽介、以下ランサーズ）は、人口減少に悩む自治体と移住ニーズの高いフリーランスとの地域マッチングを促進する「さすらいワーク」プロジェクトを8月8日開始いたします。「さすらいワーク」は時間と場所にとらわれないフリーランスが、自由に日本全国をさすらいながら仕事をするともに地域とのコミュニケーション・交流を育む新しい働き方です。自治体、地域住民とともに地域にフリーランスの受け入れ体制を構築し、高いスキルを有するフリーランスの地方への流れを創出してまいります。

会社員の2倍！フリーランスの約8割が移住に前向き



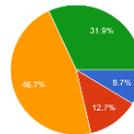
フリーランス

- ・仕事場所を選ばない
- ・ハイスキル
- ・仕事をもって移動可
- ・移住ニーズ高い



会社員

- ・場所の拘束
- ・時間の拘束
- ・地域に就職先必要
- ・移住ニーズ低い



◆移住に対する意識調査
東京都の会社員→4割
フリーランス→8割

ランサーズがフリーランス向けに行った移住に関する意識調査では、内閣府が東京都在住の男女計1,200人を対象に行った調査結果の約2倍、8割のフリーランスが移住に対し前向きであることが解りました。手に職を持つフリーランスは場所にとらわれず仕事ができるため、移住のハードルが低いことが解ります。

◆知りたいこと・体験したいこと



お試し移住で知りたいこと、体験したことに対する調査では、「地域の人の交流」が最も高く、半数以上の55.1%が「コミュニケーション」「交流」を求めていることが解りました。

移住に対する自治体の施策と課題



全国の市区町村の地方自治体では地方版総合戦略が策定され、地方創生は本格的な「事業展開」の段階に入っています。移住施策は多くの場合、上記④のフェーズをターゲット層と捉え事業を展開しており、地域への「人」の流入や交流といった点は重視されてきませんでした。しかし移住に対する心理的なハードルは①～③を経て軽減されるものであり、いきなり移住を持ち掛けるこれまでの施策はコミュニケーションロスが多く発生しています。

◆地域が求める「移住者」のミスマッチ

移住誘致対象者は子育て世代、UJIターン、若者など各自治体によりさまざまですが、移住者の生活の基盤を生み出す「仕事」を用意できるかどうかは共通の課題としてあります。また地域にはITやデザインといったスキルを持った人材が不足しておりますが、こうしたスキル人材の働く場所となる企業も地域には少ないのが現状です。

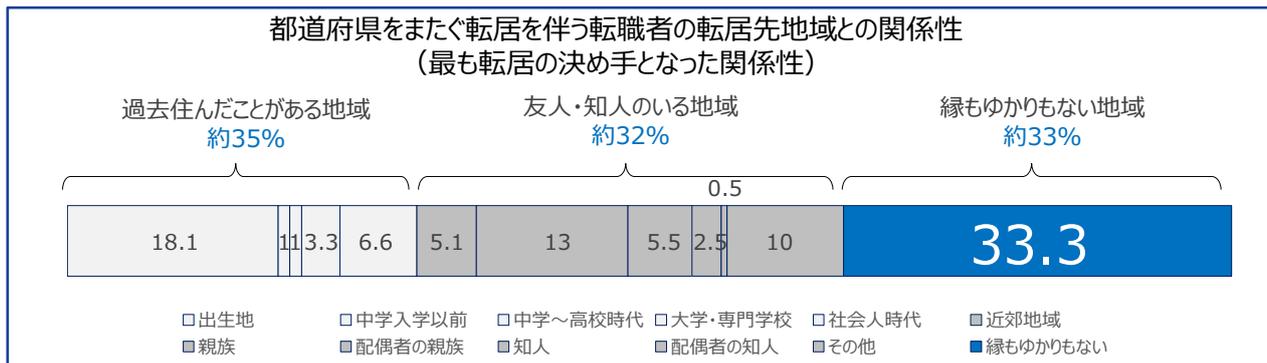
つまり地域にイノベーションを起こす人材を移住誘致したいにも関わらず、それができないという課題があります。

ランサーズ×自治体×住民協働で「さすらいワーク」とは

移住ニーズが高く、時間と場所にとらわれず働くことが出来るフリーランスに対し「さすらいワーク」では地域の「交流」と「仕事」の2つを提供してまいります。地方には季節限定で発生する人手不足が多くあり、そういった仕事を通じ、フリーランスは地域の住民と交流を持ちます。

- ・地域住民 → 季節労働者の確保、スキル人材によるイノベーション
- ・フリーランス → 地域住民によるもてなし、交流、リフレッシュ、移住体験

双方がメリットを享受することで、地域とフリーランスとの継続的かつ良好な関係性を構築します。最終的に地域に仕事を持つ「兼業デザイナー」「兼業エンジニア」といったシーズン居住や2拠点居住、定住者を生み出すのが目標です。



出所：みずほ情報総研「平成27年度産業経済研究委託事業労働移動の実態等に関する調査」(2016)より作成

富山県南砺市で「さすらいワーク」受け入れ開始



富山県・南砺市では、移住ニーズの高いフリーランス向けに情報発信体制を整え、「さすらいワーク」の受け入れを開始します。地域住民との交流が出来るよう、住民と地域おこし協力隊を巻き込み受け入れ体制を整えています。



田中幹夫 南砺市長のコメント
「新しい移住へのアプローチだと思っており、南砺市の世界文化遺産等の魅力や地域住民との交流を「さすらいワーク」を通じて体験していただき、移住につながることを期待しています。」

ランサーズが移住支援サービスを展開する理由

ランサーズ株式会社は、「時間と場所にとらわれない新しい働き方を創る」ことをビジョンに掲げ、個人と企業の仕事をつなぐプラットフォーム事業「ランサーズ」(<http://www.lancers.jp/>)をはじめ、ハイスキルのフリーランスとの協働を通じたビジネスソリューションを提供しています。

ランサーズではこれまでクラウドソーシングの仕組みを活用したCSVとして「地域住民の教育」「仕事創出」を通じた地方創生を自治体と共に展開してまいりました。

「さすらいワーク」は「お試し移住の、さらにお試し版」として、地域訪問のハードルをより下げる試みで、フリーランスの地域間移動の活性化を目指す新たなCSVです。これによりフリーランスのより自由で新しい働き方を提供するとともに、地域活性を図ります。

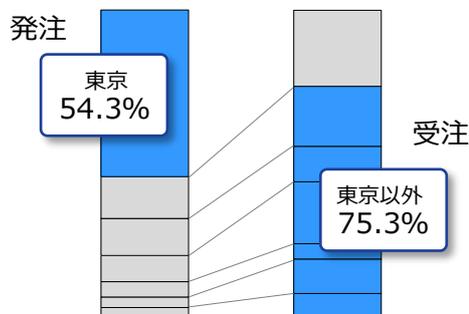
■ 地方創生事業へのお問合せ

担当：蓑口（ミノグチ）、鈴木（スズキ）

TEL：070-5079-5948 E-mail：info@l-ap.jp

URL：<https://l-ap.jp/>

仕事の受発注の流れ



インターネット上で仕事を受発注するクラウドソーシングでは東京以外のフリーランサーがメインに仕事を受注しており、東京⇄地方で「仕事の再分配現象」が起きています。

問い合わせ先

■ランサーズ株式会社 広報チーム 潮田（ウシオダ）、宮地（ミヤチ）

TEL：070-5079-5948 E-mail：press@lancers.co.jp URL：<http://www.lancers.co.jp>